



「森林・林業技術視察プログラム」

を活用した情報発信

近畿中国森林管理局 森林技術・支援センター

はじめに

当センターでは、これまで列状間伐、コンテナ苗植栽、早生樹（センタン、コウヨウザン）、天然更新や、里山広葉樹資源の有効活用に関する試験地での実証試験のほか、ドローン、地上レーザ計測などICT機器活用による森林資源の効率的な森林管理など様々な技術の確立に取り組んできました。これらの成果を地域の森林・林業関係者の方々と効果的に共有、情報発信するため、当センターでは、地域の関係者の方々の視察を積極的に受け入れており、視察のためのメニューやコース等を企画した「森林・林業技術視察プログラム（以下「プログラム」という）」を作成しています。

技術視察プログラム

このプログラムには、コンテナ苗、早生樹、列状間伐、スマート林業など11のメニューがあり、メニューごとに視察ポイントや所要時間などを記載しており、関心と時間に合ったメニューを組み合わせ、効率的に参加していただけるようにしています。また、当センターで複数のメニューを組み合わせ、視察時間が半日または全日の「森林施業コース」、「低コスト育林コース」、「バラエティコース」など4つのお勧めコースを準備し、森林・林業の初心者の方でも気軽に参加いただける工夫をしています。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の対策を講じながら、このプログラムに基づき、民有林の森林・林業関係者などに現地視察を計10回開催し、延べ130名以上の方々にご参加

センター概要

所在地 岡山県新見市高尾786-1

近畿中国森林管理局区域面積 7,342,404 ha
うち森林面積 5,092,787ha うち国有林面積 310,986ha

関係自治体 14府県
〔石川県、福井県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県〕

森林技術・支援センターでは、岡山県北西部に位置する新見市内の国有林を中心に試験地を設定し、効率的な森林整備や低コスト造林に向けた調査研究・技術開発を進めています。研究成果については、広く民有林への普及に努めており、林業大学校等への講師派遣や実習受け入れのほか、民有林の人材育成等への支援を行なっています。

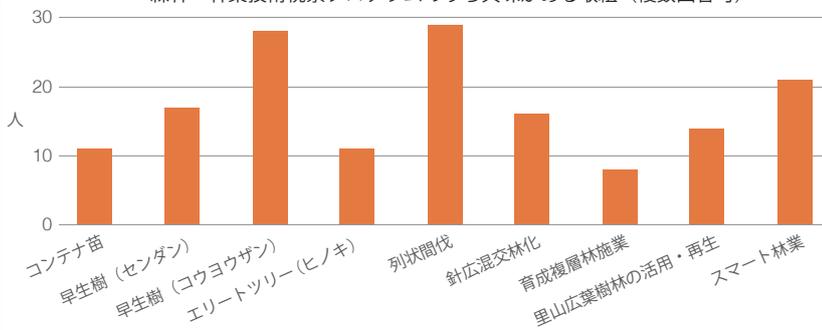


森林・林業技術視察プログラムの概要

項目	メニュー	視察ポイント	視察時間
植栽	コンテナ苗	○コンテナ苗の成育状況、植栽時期別の成育状況 ○下刈り省略林分での成育状況・無下刈り区の成育状況	40分
	早生樹（センダン）	○瀬戸内式気候での早生樹センダンの成育状況 ○施肥の有無による成長の相違	30分
	早生樹（コウヨウザン）	○コウヨウザンの成育状況、スギとの成長比較 ○ノウサギ被害の状況や被害対策、萌芽による再生状況	30分
	エリートツリー（ヒノキ）	○エリートツリーの初期成長 ○コンテナ苗植栽時期による成長の相違	30分
間伐	列状間伐	○初めての列状間伐から30年経過した林分の状況 ○無間伐林分等との比較	60分
針広混交林化 複層林施業	針広混交林化 （列状間伐の実施）	○列状間伐実施後の高木性広葉樹の状況、3伐6残の幅広 の列状間伐の状況	60分
	針広混交林化 （天然広葉樹の活用）	○天然広葉樹の活用によるヒノキ植栽本数の低減 ○地拵え、下刈り等の省力	30分
	育成複層林施業	○下木の成育状況 ○上木伐採に伴う下木の損傷状況	30分
その他	里山広葉樹林の 活用・再生	○里山林の整備・活用手法 ○天然更新（天然下種更新、萌芽更新）の状況	60分
	スマート林業	○地上レーザースキャナによる高精度な森林情報の収集 ○ドローンで撮影した写真を用いた林分解析	60分
	ノウサギN型誘引捕獲農	○ノウサギN型誘引捕獲農の仕組み、設置方法	15分

現地視察参加者アンケート結果（抜粋）

森林・林業技術視察プログラムのうち興味がある取組（複数回答可）



高校生の視察（スマート林業）



市町村職員等の視察（ノウサギN型誘引捕獲農）

未来を拓く技術の森

森林・林業技術視察プログラム



林野庁 近畿中国森林管理局
森林技術・支援センター

Forest Technology and Support Center

いただきました。参加者の方々にはアンケートに回答していただき、我々職員への取組に対する評価等をいただきながら、プログラムのさらなる充実に取り組んでいます。

アンケート調査の一例を紹介します。プログラムのうち興味がある取組については、早生樹（コウヨウザン）、列状間伐、スマート林業に関心を示される方が多く、国有林に求められて

いるニーズが把握できました。また、現地研修の理解度については、「理解できた」、「概ね理解できた」と回答していたいただいた方が約8割となり、我々職員の説明の理解度も確認することができました。このほか、9割以上の方々から次回もこのような現地視察に「参加したい」との回答があり、このプログラムに対する関心の高さも伺えました。

令和5年度のプログラムの実施に当たっては、このような貴重なご意見を参考に、新たな視察メニューの追加や出張講座の実施などプログラムのさらなる充実に努めてまいります。

🎧 おわりに

当センターでは引き続き、このプログラムを活用しながら、民有林の森林・林業関係者の方々の技術的支援を積極的に行ってまいりますので、現地視察等のご要望がございましたら、お問い合わせください。皆様のお越しをお待ちしています。

森林・林業技術視察プログラムに関する情報はこちら

https://www.rinya.naff.go.jp/kinki/g_center/shisatsu_program.html

